

2025 年 10 月 21 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【高市新内閣】

本日（2025 年 10 月 21 日）、自民党の高市早苗総裁が、衆参両院の首相指名選挙で第 104 代首相に選出された。

女性の首相就任は日本の憲政史上初めてのこと。

高市総裁の内閣発足のニュースに、時間が経過すると、外国為替市場では、徐々に「円売り」が進んだ。

日経平均株価も、わずかながら上昇傾向を示し、取引時間中の最高値を更新した。

当面のところは、「高市新内閣のご祝儀相場」となるのだろう、と考えます。

+++++

「高市新内閣のご祝儀相場」となる期間は、ドル／円に関しては、「Buy On Dip」（バイ・オン・ディップ）が成り立つ、と考えます。

相場の世界に、「Buy On Dip」（バイ・オン・ディップ）ということわざ（格言）があります。

その意味は、「Dip で買いなさい」ということです。

外国為替市場でも、この「Buy On Dip」（バイ・オン・ディップ）は、良く使われます。

+++++

この Dip（ディップ）とは何でしょうか？

上昇相場では一直線に上昇し続けることは珍しく、通常は小刻みに上下動を繰り返しながらジグザグに動き、その結果として徐々に上昇していきます。

ドル／円であれば、その上下動の下げた部分を指して、Dip と呼びます。

+++++

では、なぜ Dip（ディップ）が生じるのでしょうか。

上昇相場では、マーケット参加者の多くが、ポジションを買い持ちにして、適宜ストップ・ロスを置きます。

買い持ちが増えると市場は飽和状態となり、マーケットは自律調整を行います。

その時に多数のストップ・ロスがついて、ストンと落ちて **Dip**（ディップ）になるのです。

もちろん、それ以外の理由で **Dip**（ディップ）が起こることもあります。

+++++

上述は、あくまでも **Dip**（ディップ）に関しての一般論ですが、当面のドル／円相場に、当てはまる状況になりつつあるのではないかと考えています。

+++++

+++++

（2025 年 10 月 21 日東京時間 15：30 記述）